

ジョゼ・グラジアノ・ダ・シルバの経歴

ジョゼ・グラジアノ・ダ・シルバは 30 年以上、食料安全保障、農村開発及び農業という問題に取り組んできた。

2001 年に、ブラジルの「ゼロ・ハンガー」プログラムを策定するチームを率いた。2003 年には、ルイス・イナシオ・ルーラ・ダ・シルバ大統領により、食料安全保障・飢餓との闘い特命大臣に任命され、本プログラムの実行責任者を務めた。

2003 年から 2010 年の間、「ゼロ・ハンガー」プログラムは 2,800 万人の人々を極度の貧困から助け出した。また、ブラジルの経済社会開発を促進することを目的とした一連の新たな公共政策を呼び起こした。

2011 年 6 月に FAO の第 8 代事務局長に選出されるのに先駆けて、グラジアノ・ダ・シルバは 2006 年から 2011 年にかけて FAO のラテンアメリカ・カリブ海地域事務所の代表を務めた。この役割において、彼は「飢餓のないラテンアメリカとカリブ海・イニシアティブ」を精力的に支援し、このイニシアティブにより、同地域は、食料安全保障を確保するために家族農業、農村開発の重要性及び農村組織の重要性を強調しながら、2025 年までに飢餓を完全に根絶することをコミットする世界で初めての地域となった。

加えて、グラジアノ・ダ・シルバは他の国連機関との共同イニシアティブを促進し、南南協力を支援し、また、地域事務所を市民社会に開放した。地方分権にも特別に重点を置き、FAO 内部の改革過程に積極的に参加した。

学者としての修練を積んできたグラジアノ・ダ・シルバは、1978 年にブラジルのサンパウロ州立カンピーナス大学(UNICAMP)で教鞭をとることを開始した。また、UNICAMPの経済学研究所で経済開発と環境の修士及び博士コースの教授職を務め、26 の博士論文と 13 の修士論文を監督した。

自身は、農村開発、食料安全保障、農業経済学に関する書籍 26 冊を執筆また編集している。

グラジアノ・ダ・シルバはサンパウロ大学(USP)で農学士、農村開発と社会学修士、州立カンピーナス大学で経済科学博士号を取得した。加えて、ラテンアメリカ学(ユニバーシティ・カレッジ・ロンドン)と環境学(カリフォルニア大学サンタクルーズ校)の 2 つの博士研究員の資格を保有する。

グラジアノ・ダ・シルバはブラジルとイタリアの国籍を持ち、英語、ポルトガル語、スペイン語を話す。1949 年 11 月 17 日生まれ。パオラ・リガサッチと結婚、2 人の子どもと 2 人の孫を持つ。

原文(英語)はこちら

<http://www.fao.org/about/director-gen/biography/en/>

